

八丈島 水産だより



9月号
2021年



リュウキュウツヤハナムグリ



南原千畳敷

9月に入っても昼間はまだまだ夏のうだるような暑さが残っています。この時期の八丈島ではハナムグリ（上写真）が大量に現れ、せつせと木の葉や花の蜜を食べます。これからの季節は、島では里芋やさつまいもをはじめ、いろいろな食べ物が旬を迎えます。ハナムグリのように残暑に負けずいろいろな食べ物をバランスよく食べて、丈夫な体を作りましょう。

■ 最近の漁模様 ～ムロアジ漁と秋が旬の八丈島の魚～

8月は前半の度重なる台風の発生により、海が時化ている日が多く、出漁日も少なくなりました。8月から始まったムロアジ漁もその影響により、あまり漁獲が伸びていません。漁期は12月までであるため、今後の漁獲の増加に期待しましょう。また、八丈島では、これから秋にかけてハマダイ（オナガ）やアオダイ（アオゼ）に脂がのり美味しくなる旬を迎えます。魚屋さんで見かけたらぜひ買って食べてみましょう。

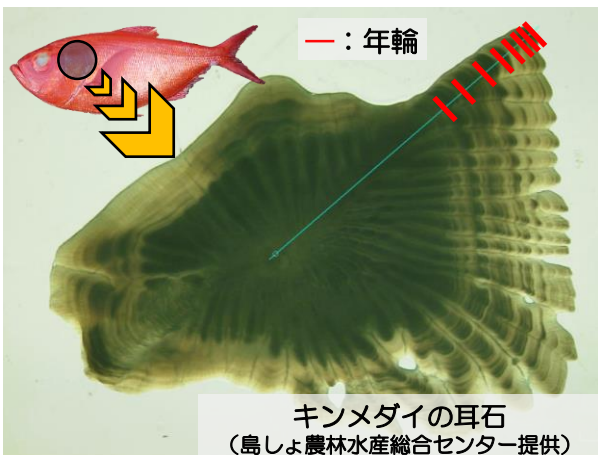


ムロアジ

ハマダイ
(オナガ)

アオダイ
(アオゼ)

■ キンメダイの年齢はどうやって調べるの？



キンメダイの耳石
(島しょ農林水産総合センター提供)

生物の年齢は、その生物の生態を理解するのに欠かせませんが、海の生物の年齢はどう調べるのでしょうか。実は魚では鱗や耳石（平衡感覚に関する器官）、貝では貝殻など、体の硬い部分にできる木の年輪のようなリング状の模様で調べることが多いです。八丈島の漁獲量の6割を占めるキンメダイでは耳石で年齢を調べることができ、他の調査データとあわせて産卵を開始する年齢などを明らかにできます。